

地区別懇談会だより

～みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり～

Vol.4

中神地区

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町1578-1
Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧ください。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

『地区別懇談会（第4回）』を開催しました

甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」として位置づけ、それぞれの地区ごとに「地区別懇談会」で話し合いを進めています。
中神地区の**対象地区は、中神町段、馬場、城本、下原田町瓜生田**です。（※瓜生田地区については、改めて調整します。）

◆第4回地区別懇談会

日時：11/20（土）16：00～

場所：中原小学校体育館

- 1 地区の復興まちづくりに向けた資料の説明
 - ・治水対策（遊水地）を踏まえた復興まちづくりの方向案について
- 2 地区ごとの話し合い
 - ・復興まちづくりの方向案について
 - ・住まいの再建及び農地の復旧に関する意向について

（参考）

地区別懇談会とは別に、国による治水対策（遊水地）に関する説明会が実施されました。

日時：11/6（日）15：00～

場所：中原小学校体育館

**黄色網掛け箇所が第4回懇談会の参加者の意見です。
※決まった内容や事実確認をした内容ではありません。**

中神地区 復興まちづくりの計画（地区別懇談会案）【方針・取組み】

| 取組みの柱 | 地区の主な課題 | 取組み方針 | 具体的取組み(案) |
|---|--|---|--|
| ①被災者のくらし再建とコミュニティの再生 【住まい再建】 【コミュニティ再生】 | <input type="checkbox"/> 住民の負担額減少に向けた取組み <input type="checkbox"/> 住まいの再建における安全性の向上 <input type="checkbox"/> コミュニティ衰退からの脱却 <input type="checkbox"/> 中神温泉・コミュニティ社交場の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉に行くまでの道に泥がたまる。 ・道が傷んでいるので改修してほしい。 ・ダンプ工事車両の動く日を知りたい。砂埃で洗濯物が干せない。 ・温泉は一日あたり利用者は100名程度だが、地域の交流の場なので残したい。 ・浸水する度に、掃除をしており、大変。温泉の嵩上げはしないのか。 ・以前、道路工事が行われた後、湯量がおかしかった。遊水地の掘り下げは温泉源に影響はないのか。 | <input type="checkbox"/> 住まいの再建における安全性の向上 <input type="checkbox"/> コミュニティの再生 | <input type="checkbox"/> 安全性を高める建て方の誘導 <input type="checkbox"/> 町内情報の整備と組織の連携 |
| ②力強い地域経済の再生 【生業再建】 | <input type="checkbox"/> 農地復旧・農業の継続 | <input type="checkbox"/> 農地復旧・農業の継続 | <input type="checkbox"/> 農地復旧・農業の継続 |
| ③災害に負けないまちづくり 【避難対策】 | <input type="checkbox"/> 安全な避難ルートの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉に行く道が、ガードレールも街灯もなく危険である。 ・シニアカーの進行を鉄板が妨げている。元は農道なのに、土砂を運搬しているダンプが走っており危険。 ・遊水地の完成までには当分時間がかかるので避難路整備と排水ポンプ機能（現況復旧ではなく）の強化が必要。 ・避難路となる道路の拡幅。 <input type="checkbox"/> 避難所の見直し・改善 <input type="checkbox"/> 安全な避難方法の確立 | <input type="checkbox"/> 安全な避難路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・優先順位を決めてソフト事業は来年度からでも進めていく。防災面の強化を図る。 <input type="checkbox"/> 避難所の見直し・機能拡充 <input type="checkbox"/> 自助共助の避難体制の構築 | <input type="checkbox"/> 安全な避難路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・集落内の袋小路避難路の解消。 <input type="checkbox"/> 復興まちづくり（復旧以上のまちづくり） <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ機能の強化。 <input type="checkbox"/> 避難所の見直し・機能拡充 <input type="checkbox"/> 地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成 <input type="checkbox"/> 防災情報の伝達機能強化 <input type="checkbox"/> 自助共助の避難体制の構築 |
| 【治水・土砂災害対策】 【復興まちづくり】 | <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域 <input type="checkbox"/> 遊水地 <ul style="list-style-type: none"> ・農地は現存のままがよい。 <input type="checkbox"/> 治水対策 <ul style="list-style-type: none"> ・樋門が閉まると温泉周辺のエリア内に雨水がたまる。 ・安全に住めるまちづくりをしてほしい。 ・瀬戸石ダムを早期に撤去してほしい。市から国に申し入れてほしい。連絡を電源開発（株）と国でしているというが、芦北町は毎年水害にさらされている状況である。 ・瀬戸石ダムの管理が不十分ではないのか。 <input type="checkbox"/> 土砂対策 <ul style="list-style-type: none"> ・万江川の流れによって上流から土砂が流れ込んでくる。 ・砂利を撤去してもらったが今年の増水で砂利が再度たまった。砂利がたまったところは今後も災害復旧で撤去をお願いしたい。 <input type="checkbox"/> 排水施設の見直し <input type="checkbox"/> 地域の自然環境・景観 <ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇市の遊水地は管理が出来ているのか。管理を容易にするとともに地域の景観にも考慮された遊水地としてほしい。地域外の人を訪れてくれるような遊水地にしてほしい。 | <input type="checkbox"/> 遊水地に関する情報提供 <input type="checkbox"/> 本川・支川の水位の低下 <input type="checkbox"/> 治山対策 <input type="checkbox"/> 治水対策 <ul style="list-style-type: none"> ・防災力の強化を図る。 <input type="checkbox"/> 排水施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプはより大きいものに替える ・排水溝があり、すり鉢状の土地になっているため、バックウォーターで浸かる。機能強化された排水ポンプが必要。 <input type="checkbox"/> 自然環境や地域景観の継承 | <input type="checkbox"/> 遊水地に関する情報提供 <input type="checkbox"/> 遊水地 <ul style="list-style-type: none"> ・最大8m掘削可能とあるが、梅雨時期の雨量を勘案し8m未満で掘る。 ・遊水地として容量想定を確保できる土地を使うことを踏まえた計算案を作成中。温泉宅地にかからないようにしている。 ・遊水地周囲堤が住宅地のすぐ脇に来ないようにセットバックする。緩衝地として駐車場整備などを整備。 <input type="checkbox"/> 流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 |

中神地区 復興まちづくり計画（地区別懇談会案）【地区整備方針・避難ルート図】

黄色網掛け箇所が第4回懇談会の参加者の意見です。※決まった内容や事実確認をした内容ではありません。

<現状復旧以上のまちづくり>

- 排水ポンプはより大きいものに替えるべき。
- 排水溝があり、すり鉢状の土地になっているため、バックウォーターで浸かる。機能強化された排水ポンプが必要。
- 樋門が閉まると温泉周辺のエリア内に雨水がたまる。
- 安全に住めるまちづくりをしてほしい。

<防災（できることから進める）>

- 治水対策が終わるのが10年先になる。今年のように増水したら避難路はどうなるのか？
- 優先順位を決めて事業は来年度からでも進めていく。防災面の強化を図る。
- 遊水地は当分かかるので避難路整備と排水ポンプ機能（現況復旧ではなく）の整備。
- 避難路における道幅の拡幅。

<遊水地の範囲内となる農地について>

- 被災前に、国土交通省から引き提案ということで、境界立ち合いなど協力したが、その後、何も連絡がない。突然遊水地に協力と言われても、納得できない。（国土交通省より、経過説明と総合的な対策計画の説明があり）納得はできないが経過は、理解した。
- 遊水地予定地内に農地を所有しているが、農地を手放してしまうと、営農ができなくなり、専業農家のため、生活が立ちいかなくなる。復興まちづくりのために、自分が復興できなくなるのは、本末転倒ではないか。
- 被災後、2年間収穫できない状態で、やっと基盤整備が終わり、農地としてこれからというところで、遊水地の話がでて、困惑している。
- 農業を続けていきたいので、代替地を考えられないか。自宅から遠くなると、農機具の運搬や農地に行くことが大変になるため、現在の農地の近くにしてほしい。
- 専業農家ではなく、農業を続ける意思もないため、農地は手放してもかまわない。補償がどうなるかが知りたい。
- 代替地として欲しい面積と、実際に準備出来る面積が釣り合うかどうか問題があり、アンケートなどの調査や、話し合いで調整していく。
- 地権者で、協議会を開いて、代替地などの土地に関する意見交換やアンケートをおこなって、落としどころを探ってみてはどうか。

<中神温泉（コミュニティ・社交場）及びその周辺>

- 温泉に行くまでの道に泥が堆積している。
- 道が傷んでいるので改修してほしい。
- ダンプ工事車両の動く日を知りたい。砂埃で洗濯物が干せない。
- 散水するなどの要望があったことを関係部局に伝える。
- アスファルトの改善
- 温泉の一日あたり利用者は100名程度だが、地域の交流の場なので残したい。
- 浸水する度に掃除をしており、大変。温泉の高上げはしないのか。

※治水関連事業については河川管理者（国・県）と要確認・調整

【祇園堂栗林線の沿線】沿道周辺では高台への避難路整備を進めるとともに、想定浸水深以下の部分については高台移転や敷地高上げを検討する

<避難路の拡幅>

- 温泉に行く道はガードレールも街灯もなく危険。
- シニアカーの進行を鉄板が妨げている。元は農道なのに、ダンプが走っており危険。

砂利を撤去してもらったが今年の増水で砂利が再度たまった。崩れているので何度も溜まる。

<土砂対策>

- 万江川の流れてによって上流から土砂が流れ込んでくる。
- 土砂が堆積した場所は今後も災害復旧で撤去をお願いしたい
- 水色の遊水地を越えて緑色の農地エリアに土砂が入った場合、国の事業で撤去できるのか。個人負担になるのか。
- 昨年同様であれば進入してこない。超えた場合は従来の方法で対応する。

<流域治水対策>

- 田んぼダムで貯水できればよいのではないのか。
- 人吉・球磨で農作物への影響を実証試験している段階。
- 瀬戸石ダムを早期に撤去してほしい。市から国に申し入れてほしい。連絡を電源開発（株）と国でしているというが、芦北町は毎年水害にさらされている状況である。
- 瀬戸石ダムの管理が不十分ではないのか？
- 防災力の強化を図る必要がある。

<遊水地整備について>

- なぜ遊水地整備が前提で復興まちづくりが進むことになったのか。住民の中には遊水地事業に反対する人もいる。
- 遊水地に反対意見が多ければ遊水地は整備しないのか。
- 遊水地は、効果に疑問がある。それより、下流の河道を広げるような工事を行ってはどうか。

<遊水地の配置・容量について>

- 農地は現存のままなのか？遊水地は深さ8mまで掘り込むのか？
- 緑色の区域は、現状維持（何もしない）。青色区域では場所によって最大8m掘り込む。調査時点は8月なので水位が低かった。梅雨時期の雨量を勘案して8m未満で掘る。
- 遊水地として狭く感じるので東側に延長し広くできないか？
- この案は発災時の容量想定を確保できるもの。土地を使うことを踏まえた計算案を作成。温泉宅地にはかからないようにした。

<遊水地実現までのプロセス>

- 買取方式が変わる可能性はあるのか？いつまで営農できるのか？
- 変わる可能性は低い。
- 一部測量しただけなので、改めて所有面積を確認し、契約となる。契約する時点までは営農は可能。（測量→土地価格→契約→営農停止）



排水機場の整備、機能強化、耐水化

樋門に増水状況を知らせる警告灯の設置
照明灯を設置して、夜間でも河川の増水状況が視認できるようにする

紅取橋 橋台補強

航路確保（球磨川下り）

凡例

- 河川整備方針の確認
- 避難路（現況）
- 避難路整備
- 避難場所、避難所

道路の拡幅、離合場所設置
側溝の整備（小学校南側等）
樹木の枝打ち（視覚の確保）
街路灯の増設

高台への避難ルート
高台への移転

避難路整備
祇園堂栗林線

現地再建（宅地）

温泉の再生・再建

遊水地（掘込式、買取方式）

上水・下水施設

公園

集会所

遊水地だけでなく、内水排出のひ門の維持・改良が必要。

墓地の移設は困難なため、遊水地を墓地にかけないように整備してほしい。

温泉を経由したひ門への道路は避難路としてもひ門の管理道路としても拡幅が必要。

住宅のすぐ脇に周囲堤がくるのは住環境に問題が出てくる。駐車場などを整備して緩衝するなど対応してほしい。

集落内の避難路整備として道路の袋小路の解消

温泉町から水道局、遊水地へ抜ける道路（新規橋の建設含む）を整備してほしい。

万江川から用水路への取水部分の管理道路の改良

万江川からの氾濫対策。堤防の高上げ等



<越流堤>

- 現在の堤防よりも低くするのか
- 形態は現時点では未確定。堤防のタイプは今後、検討予定。

<周囲堤>

- 堤防上の管理道路を遊歩道のように整備して人が訪ねてくるような遊水地に出来ないか。ガードレールなど安全対策も考慮してほしい。
- 遊水地内は景観にも考慮しながら管理に手がかけられないようにしてほしい。併せて、遊水地内が管理されていない状態にならないようにしてほしい。
- 堤防の下には管理道路とは別に農道を整備してほしい。